

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいています。心から感謝申し上げます。この「つながり」を大切にしていきたいと思えます。

震災から 1 年半が過ぎました。今月初めには、被災した県内の産地魚市場で唯一再開していなかった市場が復活しました。被災地の復興は一步一步ではありますが確実に進んでいます。そんな岩手の今を紹介します。



9 月 11 日撮影 陸前高田市

【被災地の今】陸前高田市・奇跡の一本松

震災から 1 年半が過ぎた 9 月 12 日、陸前高田市の「奇跡の一本松」を防腐処理し保存するための切断処理が始まりました。

「奇跡の一本松」がある高田松原は、全長 2 km に渡り松林と砂浜が続く陸中海岸国立公園の景勝地でしたが、**大津波により 7 万本もの松林がなぎ倒され流失しました。奇跡的に残った 1 本も枯死していることがわかり、保存処理を進めるため、この日の切断作業をむかえました。**



同市の計画では、切断した松を一つに組み立ててカーボン製の心棒を通した上で、コンクリートの基礎工事を施し、**来年 2 月に元の場所に戻し、立ち姿のまま保存する予定**です。

>>>詳しくは(「奇跡の一本松」の保存) …

<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/kategorie/fukkou/bousaimemorialpark-ippomatubousaimemorialpark-ippomatu.html#ippomatu>

岩手県の被害状況 (9 月 12 日現在)

○人的被害

死者：4, 671 名 行方不明者：1, 205 名

○建物被害(住家のみ、全半壊)：24, 212 棟

>>>いわて防災情報ポータル [被害状況など]

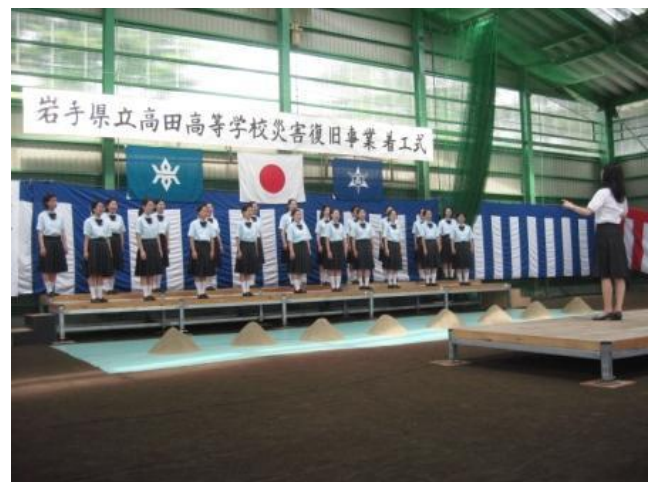
<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/taioujoukyou/index.html#new>

【復興トピック】高田高校新校舎着工式

9 月 15 日、陸前高田市の高田高校の新校舎着工式が、同市高田町の高田高校第 2 グラウンド屋内練習場で行われました。着工式では、生徒が司会を務め、音楽部が合唱を披露しました。

高田高校は津波で校舎が全壊し、現在は、大船渡市の旧大船渡農業高校の校舎を使っています。

新校舎の建設用地は同グラウンド北側の約 1 万 2, 200 m²で、4 階建て校舎のほか体育館や柔剣道場などが建設されます。今月から造成工事が始まり、**主要施設の完成は 2014 年度末を予定**しています。



皆様のご支援、ありがとうございます。

★義援金受付状況 (8 月 31 日現在)

約 174 億 3, 003 万円 (81, 240 件)

～ 市町村を通して被災者へ配分されます ～

★寄付金受付状況 (8 月 31 日現在)

約 162 億 9, 993 万円 (5, 452 件)

～ 県が行う復旧・復興の財源として使われます ～

★いわての学び希望基金受付状況 (8 月 31 日現在)

約 46 億 2, 485 万円 (7, 374 件)

～ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます～

>>>義援金・寄付金の募集

<http://www.pref.iwate.jp/~bousai/jyohou/volunteer.html>

【復興への動き】災害復興公営住宅の整備方針

県は、被災者の方々に対する災害公営住宅の整備について、市町村と調整のうえ**基本的な整備方針を定め公表**しました。さまざまな整備手法の導入により、**安全で良質な災害公営住宅の早期整備を図る**こととしています。

市町村ごとの建設予定戸数は次のとおりです。

市町村	全体戸数	うち市町村建設	
		うち市町村建設	うち県建設
洋野町	4戸	4戸	0戸
久慈市	15	15	0
野田村	120	90	30
田野畑村	112	112	0
岩泉町	53	53	0
宮古市	730	352	378
山田町	738	246	492
大槌町	980	480	500
釜石市	1,049	478	571
大船渡市	800	240	560
陸前高田市	1,000	300	700
合計	5,601	2,370	3,231

>>>詳しくは・・・ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=41279>

【復興への動き】「いわて復興応援隊」隊員内定！

被災地の復興やまちの活性化を担う「いわて復興応援隊」に**14名の採用が内定**しました。

この応援隊は、県などで構成する「いわて定住・交流促進連絡協議会」が任期付き職員として募集したもので、当初10人の採用予定枠に98人の応募がありました。**内定者のうち10人が県外居住者**です。

陸前高田市や野田村など沿岸・県北の8市町村で**10月1日から活動を開始する予定**で、最長5年、被災地視察の受け入れや観光情報の発信、特産品開発などの業務に当たります。

【復興への動き】県内の全13魚市場が復活！

9月1日、宮古市田老の**田老魚市場が業務を再開**しました。同市場の再開で、震災から1年半を前に、被災した**県内13魚市場が全て復活**しました。

また、**同月5日**、**新おおつち漁協が組合発足後初の定置網漁の水揚げ**を行いました。様々な支援を受けてこの日をむかえたもので、浜は活気を取り戻しました。

◆「いわて復興ネット」でも本県の取り組みや復興状況について発信していますのでご覧ください

→ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=39696&ik=0&pnp=14>

【陸前高田で希望の気球プロジェクト】

陸前高田市の小友小学校で9月8日、子どもたちが復興の進む街を熱気球から見る「希望の気球プロジェクト～SORAKARA～」が行われました。このプロジェクトは、「被災した子ども達を笑顔にしたい」との思いから昨年4月に結成された実行委員会が主催したもので、今回が2回目の開催になります。

子ども達からは「空を飛んでみたいだった」「ずっと乗っていたかった」「景色が輝いて見えた」「人が沢山集まる街になってほしいと思った」との感想が聞かれました。



(C) Yasunori Makita



いわて復興だより 第27号 平成24年9月15日

発行：岩手県復興局総務課 ☎ 019-629-6922

✉ AJ0001@pref.iwate.jp

◆復興だよりバックナンバーはこちらから → <http://bit.ly/qBFBOz>